

フードスタンプ・プログラムについて 知っておくべき事実 10 項目

事実： フードスタンプ・プログラムは、福祉援助プログラムではありません。所得が低い個人や家族が栄養のある食品を購入・消費できるように支援する栄養補助プログラムです。

事実： フードスタンプ・プログラムは、「エンタイトルメント・プログラム」です。つまり、受ける資格があると判断されれば、申し込んだ人はすべてフードスタンプを受けることができます。

事実： フードスタンプは、高齢者、障害者、仕事を持っている家庭、特定の合法的な移民、および米国に生まれた子供など、資格がある個人のためのプログラムです。

事実： 家を所有したり、購入しても、フードスタンプを受けることができます。フードスタンプ・プログラムでは、家とその土地は資産と見なされません。フードスタンプを受けるために、家を手放す義務はありません。

事実： 1998年、一人暮らしの高齢者は月平均\$44の給付を受けています。また、一人暮らしではない高齢者は月平均\$116の給付を受けています。

事実： 高齢者または障害者がフードスタンプ・オフィスに行くことができない場合、電話による面接を依頼できます。また、正式な代理人として親戚、牧師、近所の人などに頼むこともできます。SSIに申し込んだ人やSSIの給付を受けている人は、ソーシャル・セキュリティ事務所でフードスタンプに申し込むこともできます。

事実：月額 \$35を越える医療費は、保険会社や世帯外の誰かが支払う場合を除き、総世帯所得額から差し引くことができます。\$35を超える額が差し引かれます。

事実：高齢者世帯または高齢者が1人いる世帯の資産制限額は\$3,000です。その他すべての世帯の資産制限額は\$2,000です。

事実：フードスタンプを受けている世帯でも、ミールズ・オン・ウィール（給食宅配サービス）、女性・乳幼児・子供向け特別栄養補助プログラム（Special Supplemental Nutrition Program for Women, Infants and Children (WIC)）、および学校給食プログラムなどの子供栄養手当などを受けることができます。

事実：フードスタンプを受けることにより、合法的な移民がいる世帯が生活保護（米国社会の負担になる）家庭と見なされることはありません。

連邦法および米国農務省の政策に従い、本機関は、人種、肌の色、出身国、性別、年齢、宗教、政治的信念、または障害を理由に差別することを禁じられています。

差別に関する苦情は、米国農務省の公民権事務所（宛先：USDA, Director, Office of Civil Rights, Room 326-W, Whitten Building, 1400 Independence Avenue, SW, Washington, D. C. 20250-9410）まで手紙を書くか、(202) 720-5964（音声およびTDD（ろうあ者用電話）までお電話ください。

プログラムに関する情報の入手に別のコミュニケーション手段（点字、大きな活字による印刷、音声テープなど）を必要とする障害者の方は、米国農務省の TARGET Center（ターゲットセンター）(202) 720-2600（音声およびろうあ者用電話）までお電話ください。

アメリカを強くするフードスタンプ・プログラム